

1. ノロウイルスの特徴

(1) 感染力が極めて強い

★ウイルスが**10個程度**でも感染する

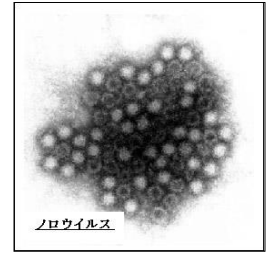
★便やおう吐物には大量のウイルス(1gあたり100万から10億個)が含まれている

★ウイルスは、乾燥すると空中を漂い、口に入ることによって感染することがある

(2) **保育施設**、学校、**高齢者施設**などで集団感染をおこしやすい

(3) 同じ人が**何度も感染**することがある (免疫は永続的ではなく、またノロウイルスにはさまざまな型があるため)

(4) 現時点では、ワクチンがない ➡ **予防が極めて重要**

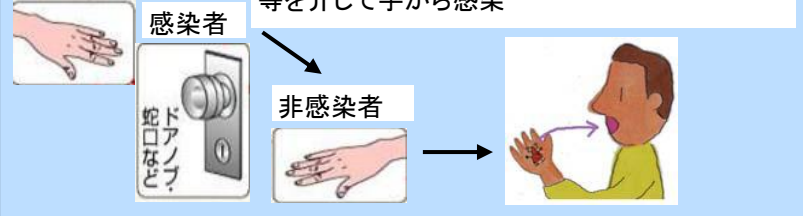


2. ノロウイルスの感染経路

① 経口感染



② 接触感染



③ 飛沫感染・空気感染



(※不顕性感染とは感染しても症状のない場合や軽い風邪症状の場合をいう)

3. 感染したときの症状と注意

- ★ 感染から発症までの期間は、24 ~ 48 時間で、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽度の発熱
- ★ 通常は、1~2日で治癒し後遺症を残さない
- ★ 下痢などの症状が無くなっても、1週間~長い場合は1か月にわたって便中にウイルスの排出あり
- ★ 乳幼児、高齢者は、脱水症状や体力消耗に注意し、水分と栄養補給を行う。症状がひどい時は受診
- ★ 下痢止めの薬は、回復を遅らせることがあるので、自己判断で使用しない



4. 感染拡大を防ぐために

(1) おう吐物の処理

1) 準備するもの

すぐに使用できるようにあらかじめセットしておきましょう

ぞうきん
ペーパータオル

(白がよい)

おう吐物のふき
取りに使用



マスク



飛び散ったウイルスを吸
い込まないために使用

専用バケツ

物品の運搬、洗
浄等に使用



使い捨て手袋・エプロン

ウイルスの汚染を防
ぐために使用



空のペットボトル

消毒液の
希釈に使用



塩素系漂白剤

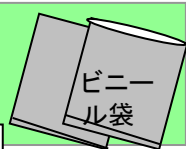
(次亜塩素酸ナトリウム)



汚染した床、衣類、
布団などの消毒に
使用

ビニール袋2枚
(液モレしないもの)

おう吐物などの廃棄に使用



2) 処理方法

★ 処理をする人以外を遠ざけ、空気の流れに注意して換気する。

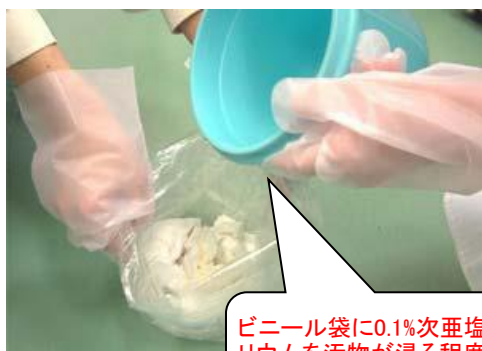
① 処理をする人は手袋とマスク、エプロンを着用。② おう吐物をペーパータオルや雑巾などで覆い、

0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液をかけて浸す。
その後外側から内側に向けて囲うようにして拭き取る。



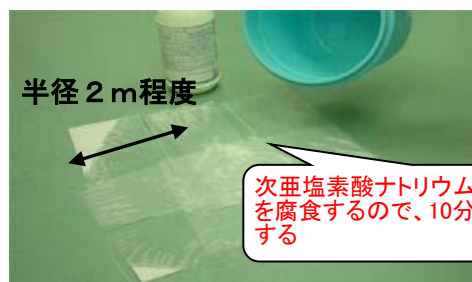
同一面でこすると汚染を広
げるので注意

③ 拭き取った雑巾等はビニール袋に入れて
密封し捨てる。



ビニール袋に0.1%次亜塩素酸ナ
トリウムを汚物が浸る程度に入れ
消毒する

④ おう吐物をふき取った後の床は、
0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液を染み込ませた
ペーパータオルで覆い、消毒し、その後水拭きをする。
おう吐物は広く飛び散るので広範囲に消毒する。



半径2m程度

次亜塩素酸ナトリウムは鉄などの金属
を腐食するので、10分消毒後、水拭き
する

※1mの高さからの吐物は、2m程度飛んでいる場合がある。

★ 処理後、手袋は表面を包み込むように裏返してはずし、拭き取った雑巾等と同様にビニール袋に密封して捨てる
手袋をはずしたあと、しっかり手洗いをする。

(2) おむつの処理

- ①使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用。
- ②おむつ交換は決められた場所で行い、おむつ交換シートは共用せず1人1シートで交換する。
- ③汚れたおむつは、おむつ交換シートごと速やかに便を包み込み、ビニール袋に入れ、汚物が浸る量の0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液を入れ、密封して捨てる。
※布おむつの場合も洗浄せずにそのままビニール袋に入れ消毒液を入れて密封し、廃棄が望ましい。
※下痢症状がある場合は、紙おむつの使用が望ましい。
- ④手袋をはずして汚物と同様にビニール袋に密封して捨てる。



(3) 便や吐物で汚れたリネン類の処理

- ①使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用
- ②リネン等は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないように拭き取り、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗い、しぶきを吸い込まないように注意する。
- ③下洗いたリネン類の消毒は85度・1分間以上の熱水洗濯が適している。

※熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には、0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液で30分浸す。
その際も十分すすぎ、高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まる。

※布団などすぐに洗濯できない物は、部分洗いをしてよく乾燥させ、加熱消毒を行う。

スチームアイロンの場合は、1ヶ所あたり2分程度の加熱が必要。布団乾燥機の場合は50度以上30分間の加熱が必要だが、家庭用布団乾燥機では十分な消毒効果が得られない場合がある。

ドライヤーは乾燥したウイルスを拡散するので使用しない。

また、使った洗い場は0.02%次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。

※次亜塩素酸ナトリウムは塩素系の漂白剤です。十分な換気等、「使用上の注意」を確認して使用しましょう。

(4) 感染者が発生した場合の居室や食器の消毒

★環境: ノロウイルスは感染力が強く、環境(ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品など)からも検出される。

トイレのドアノブ、蛇口、トイレの床、トイレや浴室の手すりなどは0.02%次亜塩素酸ナトリウム消毒液で拭き10分後水拭きする。(塩素系の漂白剤は金属腐食性があるため)

スリッパなどの履物の裏側も消毒薬を浸み込ませたペーパータオルを踏んで、消毒する。

★食器等: おう吐物が付着した食器類は、下洗いをして厨房に戻す前に0.1%次亜塩素酸ナトリウム消毒液に十分浸し、消毒する。食器の下洗いやおう吐の後、うがいをした場所も消毒する。

5. 普段から気をつけること

★日頃からきちんと手を洗うことが感染予防の基本。

特に、食事の前や、トイレに行った後、調理の前、おう吐物や便の処理後は、手洗いを必ずおこなう。

★手ふきタオルを共用しない。

★便座カバーを使わない。

★二枚貝は十分に加熱して食べる。



引用文献: 東京都福祉保健局健康安全室健康安全課・食品監視課・感染症対策課「防ごう! ノロウイルス感染」

兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課「ノロウイルス感染症・食中毒 吐物の処理方法及び消毒方法について」

参考文献: 厚生労働省健康局結核感染症課「ノロウイルスに関するQ&Aについて」

次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方

ノロウイルスに効果がある消毒液は、次亜塩素酸ナトリウムと言われております。
下記の表を参考に、薄めて使いましょう。

	原液濃度	方法	使用する場所
約0.1% 次亜塩素酸 ナトリウム	5%・6%	500ml = 原液10ml + 水 2000ml = 原液40ml + 水	おう吐物や便 汚物がついた床や便器など
約0.02% 次亜塩素酸 ナトリウム	5%・6%	2000ml = 原液10ml + 水	調理器具、床、トイレ のドアノブ、便座など



※ペットボトルを利用すると簡単に作れます。

注意!

次亜塩素酸ナトリウムを使用する時は・・・

- ★空気の流れに注意して、必ず換気しましょう。
- ★スプレー消毒はウイルスが飛び散り感染を拡げるので使用しないようにしましょう。
- ★消毒後10分程度たったら水ぶきしましょう。
(金属を腐食させる性質があるため)
- ★次亜塩素酸ナトリウムは消毒薬ですが、洗浄効果はありません。
使用済みの調理器具は、消毒する前に汚れを洗剤で落としてください。
- ★次亜塩素酸ナトリウムは冷暗所に保管し、使用期限内に使い切りましょう。また、希釈した消毒薬はつくり置きをせず、使う前につくりましょう。
- ★漂白効果があるので、色落ちが気になる布製品などには使用しないようにしましょう。

【次亜塩素酸ナトリウム濃度】

濃度 商品名(例)

1%	ミルトン、ミルクボン、ピュリファン
6%	ピューラックス、次亜塩6%「ヨシダ」、アサヒラック、テキサント
10%	ピューラックス-10、ハイボライト10、アサヒラック、アルボースキレーネ
12%	アサヒラック、バイヤラック

※次亜塩素酸ナトリウム液の濃度は、一度開封すると低下していきます。
「(メーカーが示す)濃度」、「(メーカーが推奨する)希釈方法」、「使用期限」、「保管方法」、「使用方法」等、確認の上、消毒液としてご使用ください。